

「環境保全施策の充実を求める要請書」を提出

総務産業建設委員会

当委員会は3月6日、町長に対して「環境保全施策の充実を求める要請書」を提出しました。これは26年5月より、町内の異臭問題に関する事項について、ほぼ一年にわたり議論を積み重ねてきたことによるものです。委員会では先進自治体への調査視察などを踏まえ、官学連携の推進や測定器具購入の予算確保措置などを強く要請しました。



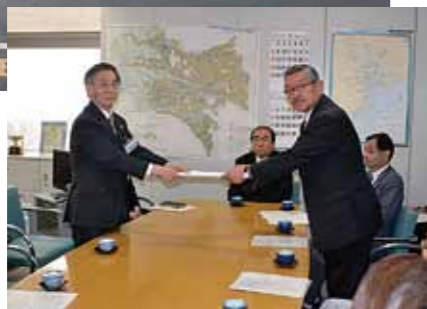
町長に「要請書」を提出

1. 測定器具を速やかに購入するための予算確保措置を行うこと
2. 測定器具を効率的・機動的に活用できる庁内体制を講じること
3. 測定結果を迅速・公正に公開すること
4. 東京都関係部局ならびに大学等の研究機関への調査依頼ができる体制・仕組みを整えておくこと
5. 調査依頼に関する予算確保措置を行うこと

モノレール延伸 早期実現に向けて ～東京都へ要望活動～



延伸が待たれる多摩都市モノレール（上北台駅）



3月23日、当委員会では、多摩都市モノレール箱根ヶ崎方面延伸の早期事業化について、町とともに東京都へ要望活動を行いました。林田・島田両都議会議員にもご出席いただき、都議会で「多摩都市モノレール上北台・箱根ヶ崎間の延伸整備の早期実現に関する請願」が全会一致で可決されたことも報告されました。

また、東京都広域交通ネットワーク計画の中で、箱根ヶ崎方面への延伸を、整備効果が高いことが見込まれる5路線のひとつと位置づけられたこともあり、「都としてもしっかりと検討したい」旨の、今までよりかなり前進した回答を得ることができました。

モノレール実現への期待が高まる中、当委員会としても引き続き活動を強めてまいります。

公共交通特別委員会



近藤 浩 議員（改革みずほの会）

便利で魅力的な町に

町長 安全で快適な環境整備に取り組む



整備された箱根ヶ崎駅西口

質問 人口減少が叫ばれる中、地域間競争という言い方も聞かれています。一方、住民の町に対する不満も大きいものがある。そこで、便利で魅力的なまちづくりについて、以下の点

を伺う。

問① 駅自由通路と周辺整備について。

町長 自由通路は法律の規制があるが、できる範囲で利用の拡大を図る。周辺整備は、商店や事業者が、出店に魅力を感じる受け皿づくりを進める。

問② 回廊計画は、ソフトラ面重視で。

町長 狭山池上流部計画においても、人を迎える意識づくりを進めたい。

問③ 歩道整備について。

町長 歩道整備には用地確保が必要であり、地権者の理解と協力が不可欠。歩道幅員の確保が困難な場合は、カラー舗装などで安全対策に努める。

問④ 今後の長期的コンセプトは。

町長 安全で快適な環境整備に取り組んでいく。



委員会視察報告

11月5日

公共交通特別委員会

「ドア・ツー・ドア」で利便性向上

長野県安曇野市



「あづみん」の配車センター（社会福祉協議会内）

わが町の公共交通に対する住民の満足度は極めて低い。今後はさらに交通弱者の増加が見込まれる中、交通不便地域の解消は重要な課題であり、委員会では先進的取り組みの安曇野市「新・公共交通システム『あづみん』」を視察した。

当市では、バス路線廃止をきっかけに、市民・官・学・産の連携による「検討会」を立ち上げ、調査を開始し、全住民の意識調査などを行った。平成19年から乗り合いタクシーを中心とした「あづみん」の運転を開始した。その結果、デマンド交通の利点である「ドア・ツー・ドア」により、住民の利便性は格段に向上した。

また、高齢者の免許返納者に「あづみん」のサービス券を交付する制度があり、安全と環境にも寄与している。

「あづみん」は、交通不便地域の解消だけでなく、地域間交流や商業活性化などの一翼も担っているとの説明もあったが、町の公共交通を考えると、「地域づくりの視点」で捉えることも重要であると認識した。わが町でも、当市の取り組みを参考に、住民の期待に応えることが大切である。